

自平成 25 年 4 月 1 日  
至平成 26 年 3 月 31 日

## 平成 25 年度事業報告書

公益財団法人 MR 認定センター

# 平成 25 年度事業報告書

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

## 1.平成25年度事業の実施

平成25年度の事業は、3月18日に開催された公益財団法人MR認定センター第9回理事会において承認を得た「平成25年度事業計画」に基づき実施した。

## 2. 理事・監事・評議員

### 1) 評議員の変更

6月25日に開催された第5回評議員会において、前田泰則評議員の辞任申し出に伴い、寺山善彦氏が評議員として選任された。任期は、定款第16条により、前任者の残任期間である平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。

### 2) 理事の変更

6月25日に開催された第5回評議員会において、澤井弘行理事の辞任申し出に伴い、吉田逸郎氏が理事として選任された。任期は、定款第33条により、前任者の残任期間である平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。

### 3) 理事会及び評議員会の開催

#### (1) 理事会

第10回 5月28日(火) 於:「東京會館 LEVEL XXI」ゴールドルーム

- ① 平成24年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)を承認した。
- ② 評議員1名及び理事1名の辞任に伴う新たな評議員を選任するための臨時評議員会を、6月25日に第5回評議員会として招集することを決議した。
- ③ 理事長及び専務理事より職務の執行状況について報告があった。

第11回 10月9日(水)(定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 臨時評議員会の招集及びその決議の省略について承認した。

第12回 平成26年1月15日(金) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 第20回MR認定試験の結果を承認した。
- ② 第21回MR認定試験の実施について承認した。
- ③ その他事項(平成26年度事業方針)について報告した。

第13回 平成26年3月10日(月) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 平成26年度事業計画(案)を承認した。

- ② 平成26年度収支予算(案)を承認した。
- ③ 理事長及び専務理事より業務の執行状況について報告した。

(2)評議員会

第5回 平成25年6月25日(火) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 前田泰則評議員の辞任申し出に伴い、寺山善彦氏が評議員として選任された。任期は定款第16条により、前任者の残任期間である平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。
- ② 澤井弘行理事の辞任の申し出に伴い、吉田逸郎氏が理事として選任された。任期は定款第16条により、前任者の残任期間である平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。
- ③ 平成24年度決算報告書を承認した。
- ④ その他事項について報告した。

第6回 平成25年10月21日(月)(定款第25条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 仲谷博明理事の辞任申し出に伴い田中徳雄氏を理事として承認した。任期は、定款第16条により、前任者の残任期間である平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。

3. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

1) 第20回MR認定試験の実施

(1) 試験実施のため、人材派遣会社社員及び試験会場の大学アルバイト総計306名に試験監督員を委嘱し、これら監督員に試験当日の会場設営と当日の試験監督を依頼した。

- ① 試験日時 12月8日(日)午前9時30分より午後3時50分まで
- ② 試験地 東京、大阪の2地区2会場(学習院大学、大阪工業大学を借用)
- ③ 受験者数

	人数
新規受験者	4,268名
再受験者	867名
受験者計	5,135名
受験申請者数	5,219名

なお、新規受験者は、平成25年度導入教育修了者が中心であり、昨年より145名減少した。

(2) 試験委員会の開催

第24回運営委員会 9月13日

① 第20回MR認定試験問題等について検討した。

第27回試験委員会 平成26年1月10日

① 第20回MR認定試験受験者に対する合否についての判定を行った。

### (3) 合否の判定

平成26年1月15日開催の第12回理事会で承認を受けた後、1月27日付で受験者に試験結果を通知した。

	合格者数	合格率
新規受験者	3,284名	76.9%
再受験者	357名	41.2%
合計	3,641名	70.9%

### (4) 合格基準の公表

合格基準点及び配点並びに正答を公表した。

## 2) 第21回MR認定試験の準備

第21回試験は平成26年12月14日とし、実施に向けて準備に入った。

(1) 第21回試験受験案内を平成26年3月27日付で各企業に通知した。

(2) 試験会場として学習院大学、大阪工業大学から借用できる内諾を得た。

## 3) MR認定証の発行及び管理

(1) 第20回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった1,227名に対し、平成26年3月31日までに順次発送した。

また、企業の合併やMRの企業間移動及び認定証の棄損・亡失などの理由により再交付した認定証は、197枚であった。

(2) 不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

## 4) MR認定証の更新手続き

MR認定証の有効期限が平成26年1月末日の者を主な対象とし、認定更新を行った。

### (1) MR認定証の更新と管理

① 21,324名のMRから認定更新の申請があり認定した。

② MR認定証の更新には5年間の教育研修修了認定が必須のため、MR認定証更新に関する認定研修のデータを具備した「MR教育・試験管理システム(MR O)」を運用し管理した。

### (2) MR認定証更新に伴う補完教育

① 補完教育は、平成24年度からIT(パソコン)方式にて実施した。経過措置期間として平成28年までの5年間は、用紙方式を併用する。

② 北里大学薬学部から平成25年度の新作問題として420問を受領した。新作問題

を精査し、平成24年度の出題問題を各科目とも約50%新作問題と入れ替え、CBTに600問搭載した。

③ 平成25年度補完教育の受講状況(平成26年2月28日現在)

対象者は、MR認定証の有効期限が平成26年1月末日であり、更新に必要な認定研修を充足できず認定証の更新を希望する者。

・IT方式 申込数3,278名(企業2,944名 個人334名)

受講者登録数 2,842名(ID・パスワード発行者数)

未受講者数 73名

受講中者数 130名

合格者数 2,581名

不合格者数 58名(受講期間内に修了できなかった者56名・テストを3回受講して合格基準に達しなかった者2名)

・用紙方式 申込者数 23名

合格者数 20名

不合格者数 3名

④ 平成25年度補完教育については、第5回補完教育小委員会(平成26年3月4日開催)にて検討の上、第41回教育研修委員会(平成26年3月11日開催)に報告した。

5) MRの資質向上等に関する調査研究事業

調査活動

(1) MRの実態及び教育研修の現状に関する調査

センター登録 210 社に対し平成 25 年 3 月 31 日時点でのMRの実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、「MR白書」(2013年版)としてとりまとめた。

(2) 各企業との情報交換会の開催

MRをめぐる環境変化が激しくなっているため、企業訪問し情報交換会を開催した。

①ファイザー製薬株式会社(5月21日)

②武田薬品工業株式会社(6月28日)

③大日本住友製薬株式会社(10月7日)

④塩野義製薬株式会社(10月10日)

⑤小野薬品工業株式会社(10月21日)

⑥クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社(1月28日)

⑦沢井製薬株式会社(2月24日)

4. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

1) 教育研修委員会

第40回委員会(9月24日開催)

- (1)平成24年度「教育研修システム」の認定等について承認した。
  - ・平成24年度「教育研修システム」及び「教育研修施設」の認定について。
  - ・平成24年度「教育研修認定に関する指導基準」に基づく改善指導について。
- (2)平成24年度教育研修の認定状況について承認した。
- (3)平成24年度補完教育実施報告について承認した。
- (4)教育研修セミナーの実施報告について報告した。
- (5)MR白書について報告した。
- (6)カリキュラム委員会について報告した。
- (7)平成25年度補完教育現況について報告した。

第41回委員会(平成26年3月11日開催)

- (1)平成26年度補完教育受講要項(案)を承認した。
- (2)導入教育「基礎教育」コアカリキュラムの改訂について報告した。
- (3)平成25年度センターの取り組みについて報告した。
  - ・MRのマナーに関する課題と対応
- (4)平成25年度補完教育現況について報告した。

2)補完教育小委員会

第4回小委員会(9月10日開催)

- (1)平成24年度補完教育実施報告について検討した。
- (2)IT方式・用紙方式の受講状況について検討した。
- (3)平成25年度受講後のアンケート調査について検討した。

第5回小委員会(平成26年3月4日開催)

- (1)平成25年度補完教育の受講状況を報告した。
- (2)平成25年度受講後のアンケート調査の結果を報告した。
- (3)平成26年度補完教育受講要項(案)について検討した。

3)教育研修システムの運用

(1)教育研修に関する認定

「MR教育・試験管理システム」を運用し、教育研修履修の認定を行った。

- ① 教育研修計画書及び実施報告書の企業からの申請に基づき審査を行い、各MRの教育研修履修認定を行った。

	企業数	申請教育研修数	教育研修対象者数
導入教育計画認定	136社	326件	5,120名
同実施報告認定	136社	326件	4,713名

継続教育計画認定	206社	1,014件	82,545名
同実施報告認定	206社	1,013件	75,282名

- ② 新規に教育研修を開始する企業及び合併する企業からの申請に基づき、教育研修システムの認定を2社行った。一方、業務廃止・企業合併に伴い4社の登録を抹消した。登録企業数は、207社である。
- ③ 新規に教育研修施設の認定を1施設行った。教育研修の受託はなく2社から登録辞退があり登録を抹消した。教育研修を受託する教育研修施設は、合計16社である。
- ④ 計画書の遅延や申請を失念した企業に対して「教育研修認定に関する指導基準」に基づき、改善指導を行った。

・注意 12件

内容:計画書・報告書の申請遅延。

措置:口頭にて注意し、一部顛末書の提出を求めて注意した。

・指導 12件

内容:2008-2012年度の継続教育計画申請・報告申請の失念。

措置:対象者の履修証明記録、顛末書の提出を求め、教育研修に関する管理体制を見直し、再構築するよう指導した。

- (2)各企業からの教育研修に関する相談について、助言・指導を行った。

#### 4)教育研修管理者講習会の開催

##### (1)教育研修管理者認定講習会

各企業に教育研修管理者1名の登録を義務付けており、新たに教育研修管理者となる者のための講習会を行った。なお、平成24年度より各企業による制度の理解と運用力を高める目的で、企業ごとに複数の管理者を設置可とした。

##### ① 教育研修管理者認定講習会の実施及び認定状況

イ. 会場 東京薬事協会・会議室

ロ. 内容 MR認定センター職員による教育研修要綱等の解説

ハ. 実施及び認定状況

開催日	教育研修 管理者予定者数	再試問 対象者数	教育研修 管理者認定者数
4月10日(水)	19名(6名)	1名	19名
7月10日(水)	24名(7名)	0名	24名
11月13日(水)	24名(9名)	1名	24名
平成26年1月22日(水)	12名(7名)	0名	12名
計	79名(29名)	2名	79名

( )内は、非登録(複数)の教育研修管理者数

##### ② 試問

イ. 実施方法 本年度よりCBT(Webを使ったテスト)

ロ. 出題形式及び判定基準

問題		判定
正誤	40問	正答率90%以上で合格とし、合格するまで実施
穴埋め	10問	
小論文	1問	5段階評価(A B <sup>+</sup> B B <sup>-</sup> C)を行い、B <sup>-</sup> C は不合格とする

(2) 教育研修管理者認定更新講習会

教育研修管理者は、1年毎の認定更新を必要とする。東京と大阪の2会場に分けて開催した。

① 開催日及び場所

10月16日(水) 東京:東京コンファレンスセンター・品川

10月22日(火) 大阪:薬業年金会館

② プログラム

13:30～13:40	挨拶  専務理事 小清水敏昌
13:40～14:10	第Ⅰ部 MR認定制度の推進 第20回MR認定試験について  試験事業部長 福田正信
14:10～14:50	教育研修制度の運用について 補完教育について  教育研修部長 松本悦子
15:10～15:30	第Ⅱ部 MRを取り巻く環境変化とその対応 MRに対する期待とその評価について  企画部長 大屋博道
15:30～16:00	MR教育の課題(アンケート結果から)  総務部長 近澤洋平
16:10～16:45	MRの資質向上について  事務局長 水野能文
16:45～17:00	著作権の保護とその運用について 諸連絡  総務部長 近澤洋平

③ 受講者数

	東京	大阪
管理者	193名	68名
オブザーバー	22名	8名
合計	215名	76名

④ 補講の実施



管理者認定更新講習会の欠席者に対しては、次のとおり補講を実施した。

イ. 日時:12月20日(金) 13:30~17:00

ロ. 場所:東京薬事協会・会議室

ハ.人数:15名

## 5)インストラクター支援講習会の開催

### (1)インストラクター研修会

#### ① 開催内容

会場	東京 (アイビーホール)	大阪 (クロスウエーブ梅田)
日程	5月23日(木)~24日(金)	10月24(木)~25日(金)
	6月20日(木)~21日(金)	
	平成26年2月6日(木)~7日(金)	
対象	インストラクター経験の浅い(1年以内)MR研修担当者	
講師	(株)話し方研究所 戸田久実氏、内田賢司氏	
内容	インストラクターの基本スキルとマインドを学ぶ	

#### ② 参加者

企業数	参加者数	(東京)	(大阪)
36社	90名	66名	24名

### (2)MRに対するマナー指導者セミナー (平成24年度より実施)

#### ① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)	
日程	平成26年2月21日(金)	平成26年3月14日(金)
対象	導入教育の担当者	
講師	アドットコミュニケーション(株) 戸田久実氏	
内容	MRに求められる基本的なマナー(身だしなみ、言葉づかい)を指導できるようにする	

#### ② 参加者

企業数	参加者数
32社	38名

### (3)ファシリテーション研修会

#### ① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)
----	-------------

日程	7月12日(金)	平成26年1月24日(金)
対象	研修会を効果的に進めたいインストラクター	
講師	PHP研究所 今村恵理氏	
内容	研修ファシリテーションスキルを修得し、効果的な研修を実現する	

② 参加者

企業数	参加者数
21社	36名

(4) 教育研修セミナー

① テーマ

「医療の一翼を担うMRを育成するために」  
～教育研修のあり方と今後の課題～

② 開催日及び場所

8月31日(土) コクヨホール(品川)

③ プログラム

13:00～13:10	挨拶  専務理事 小清水敏昌
13:10～14:30	基調講演 「医療の一翼を担うMRを育成するために」 東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部長 川久保孝先生
14:45～16:00	事例発表 科研製薬(株) 学術部長 村上覚氏 MSD(株) 医薬研修部マネジャー 西谷晴信氏
16:10～17:20	アンケート結果の公表と総合討論 科研製薬(株) 人事部人材開発グループマネジャー 米村浩敏氏 MSD(株) 医薬研修部マネジャー 西谷晴信氏 日本イーライリリー(株) 人財開発部統括管理部長 近藤平三郎氏 プリンシプル・コンサルティング・グループ(株) 代表取締役 秋山進氏 司会;MR認定センター総務部長 近澤洋平
17:20～17:30	閉会挨拶  事務局長 水野能文

④ 参加者

企業数	参加者数
87社	134名

(5)トレーナーズ・セミナー入門コース

① 開催内容

会場	東京(アルカディア市ヶ谷)	大阪(クロス・ウェーブ梅田)
日程	10月10日(木) 平成26年1月30日(木)	10月23日(水)
対象	新たにMR教育研修トレーナーになった者と教育について基礎から学びたい者。	
講師	サンライトヒューマンTDMC(株)代表取締役社長 森田晃子氏	
内容	トレーナー入門者が、効果的なMR教育についての基礎を学び、自社の教育に応用できるようになる。	

② 参加者

企業数	参加者数	東京	大阪
29社	53名	41名	12名

(6)トレーナーズ・セミナー基礎コース

① 開催内容

地区	東京(セミナーハウス フォーリッジ)
日程	10月17日(木)～18日(金) 12月12日(木)～13日(金)
対象	MR教育研修インストラクター
ファシリテーター	サンライトヒューマンTDMC(株) 代表取締役社長 森田晃子氏
内容	MR教育について、効果的・効率的な教育理論の基礎について理解を深める参加者主体型のセミナー

② 参加者

企業数	参加者数
20社	36名

(7)トレーナーズ・セミナー応用コース

① 開催内容

地区	横浜(オンワード総合研究所)
日程	平成26年2月20(木)～21日(金)
対象	MR教育研修インストラクター
アドバイザー	国立大学法人熊本大学教授 鈴木克明 先生 サンライトヒューマンTDMC(株)代表取締役社長 森田晃子氏

内容	企業におけるMRトレーナーの資質向上を目指してMR教育の手法やカリキュラムなどの質を向上させるための研究会方式のセミナー
----	--

② 参加者

企業数	参加者数
14社	23名

5. 出版物の頒布に関する事業(定款第4条第3号関係)

1) MRテキストの頒布

(1) 頒布価格

書籍名	本体価格	税込み
MRテキストⅠ 医薬品情報2012	1,500円	1,575円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(基礎)	1,800円	1,890円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(臨床)	2,100円	2,205円
MRテキストⅢ 医薬概論2012	1,800円	1,890円

(2) 頒布部数

書籍名	頒布部数
MRテキストⅠ 医薬品情報 2012	7,917部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(基礎)	9,417部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(臨床)	9,417部
MRテキストⅢ 医薬概論 2012	10,057部

(3) その他の冊子の作成と頒布

- ・MRテキストⅢ 医薬概論 2012 (2014年改訂)
- ・2013年版MR白書—MRの事態及び教育研修の変動—

6. 広報活動(定款第4条第1号関係)

1) 第16回センター・ミーティングの開催

開催日:東京会場 平成26年2月18日(火)

大阪会場 平成26年2月25日(火)

場 所:東京会場 東京コンファレンスセンター・品川

大阪会場 薬業年金会館

①センターからの報告事項を連絡した

②「MRの資質とマナーの向上について—激変するMR環境—」をテーマに企業発表と参加者によるディスカッションを行った。

東京会場:エーザイ株式会社

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社

大阪会場:塩野義製薬株式会社  
マルホ株式会社

## 2) 薬科大学での講義

薬剤師のMRに占める割合が年々減少してきていることから、薬科大学で「MRと製薬企業」について講義を行った。

4月11日(木) 慶応義塾大学薬学部

6月15日(土) 城西大学薬学部

8月6日(火) 帝京平成大学薬学部

9月30日(月) 北海道薬科大学薬学部

## 3) 第23回日本医療薬学会年会に出展

9月21日～22日に仙台市で開催された、日本医療薬学会年会において東北大学川内北キャンパスにてブース展示し、薬系大学教員・学生や医療関係者にMR職などを紹介した。

## 4) 第134回日本薬学会年会に出展

平成26年3月28日～30日に熊本市で開催された、日本薬学会年会において熊本市総合体育館にてブース展示し、薬系大学教員・学生や医療関係者にMR職などを紹介した。

## 5) 日本薬史学会主催の講演会に後援団体として参加

平成26年1月16日(木)ジェレミー・グリーン准教授(ジョンズ・ホプキンス大学)による「歴史から見た医薬品プロモーション活動—製薬企業・医師・薬剤師・医療消費者」

於: 東大農学部弥生講堂 他の後援団体: 東大医学教育国際協力研究センター、東大医薬政策学講座、日本製薬医学会、日本医史学会。

## 6) 学会発表・参加

・日本製薬医学会 (7月19-20日 東京 参加)

・日本医薬品情報学会 (8月10-11日 名古屋 発表)

・日本レギュラトリーサイエンス学会 (9月6-7日 東京 参加)

・日本臨床薬理学会 (12月4-6日 東京 参加)

## 7. 委員会の開催

### 1) 試験委員会

(p2を参照)

### 2) 教育研修委員会

(p4を参照)

### 3) 補完教育小委員会

(p5を参照)

### 4) カリキュラム委員会

教育研修委員会の下部組織としてカリキュラム委員会を発足させ、活動を行った。

#### (1) タスク

導入教育「基礎教育」コアカリキュラムの見直し及びMRテキストの改善に関する提言を教育研修委員会に対して行う。

#### (2) 委員

担当	所属	氏名
委員長	コーチ・ビーイング・プラス 代表	日野晴之
医薬品情報	アステラス製薬(株) 医薬研修部	大堀 進一
医薬品情報	日本ジェネリック株式会社 学術情報部	平野伸治
医薬品情報	(株)シミックエムピーエスエス 人財開発センター	渦巻浩也
疾病と治療	大日本住友製薬(株) 営業人材開発部	岡埜仁子
疾病と治療	ノボノルディスクファーマ(株) フィールドトレーニング&ディベロップメント部	浦 義幸
疾病と治療	帝人ファーマ(株) 学術情報部	野口克彦
疾病と治療	ゼリア新薬工業(株) 学術研修室	岡本邦彦
疾病と治療	(学)医学アカデミー YTL 事業部 学術部	平島光博
医薬概論	バイエル薬品(株) 営業トレーニング	吾郷克己
医薬概論	日本新薬(株) 医薬研修部	金子丈二
医薬概論	(株)メディカルエデュケーション 大阪事務所	井上佳昭

#### (3) 活動

##### ① 第1回カリキュラム委員会(9月19日開催)

委員会の目的、タスクについて共有を行い、フリーディスカッションにて意見交換をした。

##### ② 2回カリキュラム委員会(11月20日開催)

カリキュラムの基本コンセプトを確認し、分科会の進め方について合意した。

## 8. 設備投資について

認定試験事業及び教育研修事業のITシステム改修のために、特定資産取得・改良資金を積み立てた。

## 9. その他

### 1) MRに関するセンター懇談会の開催

目的:各団体と今後のMR教育のあり方やその方法論等について意見交換する

参加者:菊池 満委員 日本製薬工業協会流通適正化委員会 副委員長

水野文雄委員 東京医薬品工業協会教育研修研究会研究会長  
 濱口哲郎委員 大阪医薬品協会教育研修研究会委員長  
 松本研一委員 日本ジェネリック製薬協会信頼性向上プロジェクト  
 MR教育研修担当リーダー  
 河島数明委員 日本医薬品直販メーカー協議会教育研修委員会委員長

第3回	
日 時	平成26年年2月4日(火) 15:00～17:00
場 所	東京薬事協会204会議室
テーマ	1. MR認定試験について <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験時期について</li> <li>・試験回数について</li> <li>・試験時間について</li> </ul> 2. MR認定制度について <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定制度と資格制度の違いについて</li> </ul> 3. MRの資質について <ul style="list-style-type: none"> <li>・MRのマナーについて</li> </ul>

以上